



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 日産東京販売ホールディングス株式会社  
 コード番号 8291 URL <http://www.nissan-tokyo-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 酒井 信也  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 米澤 領一

TEL 03-5496-5203

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	104,073	△2.6	1,988	△7.6	1,462	2.5	1,257	63.3
24年3月期第3四半期	106,831	116.7	2,153	—	1,426	—	769	51.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,457百万円 (123.4%) 24年3月期第3四半期 652百万円 (38.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	18.89	—
24年3月期第3四半期	11.56	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	61,810	17,158	26.3
24年3月期	70,622	15,719	21.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 16,250百万円 24年3月期 14,949百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	1.7	3,800	△9.1	3,200	△0.1	2,800	10.5	42.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	66,635,063 株	24年3月期	66,635,063 株
25年3月期3Q	52,254 株	24年3月期	52,000 株
25年3月期3Q	66,582,826 株	24年3月期3Q	66,584,504 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 追加情報	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要とエコカー補助金等の政策効果に支えられてまいりましたが、欧州・中国の景気後退、日中情勢の悪化等の大きなマイナス要因もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力である自動車関連事業におきましては、軽自動車を含む国内の新車販売台数が9月以降、4ヶ月連続で前年を下回る厳しい市場環境でありましたが、震災等の自然災害のあった前年同四半期比では20.1%増となりました。また、当社グループのマーケットである東京都内の新車販売台数は18.9%増であります。しかしながら、当社グループの新車販売台数は昨年同四半期の販売への自然災害の影響が他社より少なかったこともあり、前年同四半期比4.0%減の実績となっております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績はほぼ計画通りに推移した結果、売上高は104,073百万円（前年同四半期比2,757百万円減、2.6%減）、営業利益は1,988百万円（前年同四半期比164百万円減、7.6%減）となりましたが、支払利息等の減少により経常利益は1,462百万円（前年同四半期比35百万円増、2.5%増）となりました。また、特別損失に固定資産除売却損を計上いたしました。繰延税金資産の計上などにより法人税等が大幅に減少した結果、四半期純利益は1,257百万円（前年同四半期比487百万円増、63.3%増）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。なお、従来、報告セグメントとして記載していた「不動産関連事業」は、重要性が減少したため「その他」に含めており、前第3四半期連結累計期間との比較につきましては、変更後の区分により作成した情報に基づき記載しております。

## ① 自動車関連事業

新車販売につきましては、セレナ・ノート・キャラバン・シルフィの新型車効果により増益となりましたが、前年上半期の中古車市場が活況であった反動により中古車販売の減収・減益が大きく影響した結果、売上高は97,900百万円（前年同四半期比2,567百万円減、2.6%減）、セグメント利益（営業利益）は2,260百万円（前年同四半期比163百万円減、6.7%減）となりました。

## ② 情報システム関連事業

IT商品の低価格化が進む中、企業の設備投資は抑制傾向にあり、ハードウェアビジネスにおけるサーバーを中心とした大型案件が減少した結果、売上高は4,842百万円（前年同四半期比142百万円減、2.9%減）、セグメント利益（営業利益）は123百万円（前年同四半期比17百万円減、12.3%減）となりました。

## ③ その他

その他の事業は不動産事業及び人材派遣事業であります。不動産事業において外部顧客への賃貸契約が減少したこと、及び人材派遣事業においては派遣スタッフ数は伸長するも、一人当たりの売上単価が減少した結果、売上高は1,330百万円（前年同四半期比47百万円減、3.5%減）、セグメント利益（営業利益）は81百万円（前年同四半期比10百万円減、11.2%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は61,810百万円（前連結会計年度比8,811百万円減、12.5%減）となりました。主な内容は、商品が2,208百万円増加し、受取手形及び売掛金が3,876百万円、その他流動資産が707百万円、有形固定資産が764百万円、その他投資資産が353百万円及び現金及び預金が5,257百万円減少しております。

## ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は44,652百万円（前連結会計年度比10,250百万円減、18.7%減）となりました。主な内容は、長短借入金が1,510百万円増加し、支払手形及び買掛金が9,384百万円、未払法人税等が423百万円、賞与引当金が596百万円、その他流動負債が884百万円及び長期繰延税金負債が309百万円減少しております。

## ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は17,158百万円（前連結会計年度比1,439百万円増、9.2%増）となりました。主な内容は、資本剰余金を2,093百万円取り崩し、欠損金を一部填補しており、また、四半期純利益を1,257百万円計上したこともあり、利益剰余金は3,351百万円増加しております。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績はほぼ計画通りに推移しており、現時点におきましては、平成24年5月14日に公表いたしました業績予想は修正しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

在外子会社の税金費用の計算については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,615	3,358
受取手形及び売掛金	8,468	4,592
商品	6,764	8,972
仕掛品	138	203
貯蔵品	66	63
繰延税金資産	720	819
その他	3,946	3,238
貸倒引当金	△19	△9
流動資産合計	28,700	21,239
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,104	5,860
リース資産（純額）	8,675	8,475
土地	15,639	15,142
その他（純額）	4,968	5,144
有形固定資産合計	35,386	34,622
無形固定資産		
のれん	1,753	1,686
その他	237	188
無形固定資産合計	1,991	1,875
投資その他の資産		
投資有価証券	1,991	1,942
繰延税金資産	546	478
その他	2,217	1,863
貸倒引当金	△211	△211
投資その他の資産合計	4,543	4,073
固定資産合計	41,921	40,571
資産合計	70,622	61,810

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,176	10,791
短期借入金	567	3,413
1年内返済予定の長期借入金	1,203	1,570
リース債務	552	541
未払法人税等	508	85
賞与引当金	1,266	670
その他	5,122	4,237
流動負債合計	29,396	21,310
固定負債		
長期借入金	6,310	4,608
リース債務	8,146	8,003
繰延税金負債	309	—
退職給付引当金	10,216	10,224
資産除去債務	272	274
その他	249	231
固定負債合計	25,506	23,341
負債合計	54,902	44,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,752	13,752
資本剰余金	2,350	256
利益剰余金	△1,134	2,217
自己株式	△12	△12
株主資本合計	14,954	16,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180	187
為替換算調整勘定	△186	△149
その他の包括利益累計額合計	△5	38
少数株主持分	769	907
純資産合計	15,719	17,158
負債純資産合計	70,622	61,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	106,831	104,073
売上原価	80,932	78,370
売上総利益	25,898	25,702
販売費及び一般管理費	23,745	23,714
営業利益	2,153	1,988
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	48	57
雑収入	86	70
営業外収益合計	136	128
営業外費用		
支払利息	421	250
支払手数料	173	189
雑損失	267	214
営業外費用合計	862	654
経常利益	1,426	1,462
特別利益		
関係会社株式売却益	—	27
特別利益合計	—	27
特別損失		
固定資産除売却損	49	324
投資有価証券売却損	10	—
投資有価証券評価損	41	—
特別損失合計	101	324
税金等調整前四半期純利益	1,325	1,165
法人税、住民税及び事業税	185	98
法人税等調整額	335	△346
法人税等合計	520	△247
少数株主損益調整前四半期純利益	804	1,412
少数株主利益	34	154
四半期純利益	769	1,257

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	804	1,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	7
為替換算調整勘定	△95	37
その他の包括利益合計	△152	44
四半期包括利益	652	1,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	616	1,301
少数株主に係る四半期包括利益	35	156

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車 関連事業	情報システ ム関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	100,467	4,985	105,452	1,378	106,831
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	305	305	129	435
計	100,467	5,290	105,758	1,508	107,266
セグメント利益	2,423	140	2,564	92	2,656

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び人材派遣事業であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,564
「その他」の区分の利益	92
セグメント間取引消去	△4
全社費用(注)	△499
四半期連結損益計算書の営業利益	2,153

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成23年4月1日付で、日産プリンス東京販売(株)及び日産プリンス西東京販売(株)の株式を取得し、連結の範囲に含めております。これらの事業展開によって期待される超過収益力から発生した当第3四半期連結累計期間におけるのれんの金額は、「自動車関連事業」において1,806百万円増加しております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	97,900	4,842	102,742	1,330	104,073
セグメント間の 内部売上高又は振替高	16	333	350	134	484
計	97,916	5,176	103,093	1,464	104,557
セグメント利益	2,260	123	2,383	81	2,465

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び人材派遣事業であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,383
「その他」の区分の利益	81
セグメント間取引消去	△1
全社費用(注)	△475
四半期連結損益計算書の営業利益	1,988

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

## (セグメント区分の変更)

従来、報告セグメントとして記載していた「不動産関連事業」は、重要性が減少したため「その他」に含めております。

この変更に伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の区分により作成しております。

## (減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

該当事項はありません。